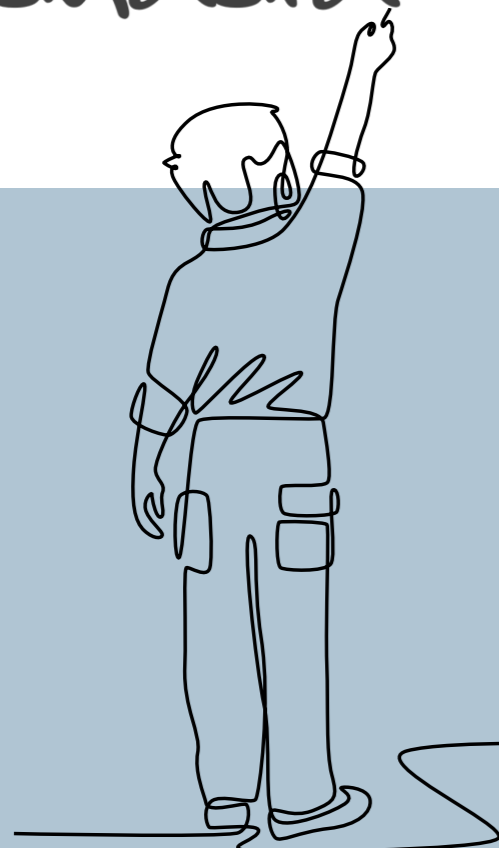


Standard



国土交通省 建築BIM推進会議 標準化タスクフォース

標準化タスクフォースで使用する用語集

2026年03月13日

Ver.2.0

はじめに

国土交通省 BIM推進会議 標準化タスクフォース、属性項目の標準化における成果物として「標準属性項目リスト」「属性項目の解説書」の改訂版を提示する運びとなりました。

建設業界におけるデジタル化と効率化を推進し、共通の基準となるBIMの属性情報ガイドラインを提供することを目的として提示いたしました。

皆様のご協力と知恵の結集により、この成果物が業界標準として広く受け入れられるとともに、議論のたたきとして意見を出し合ってまとまっていくことを期待していますので、何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年03月13日
標準化タスクフォース

改訂履歴

頁	改訂Ver	タイトル	改訂内容
	Ver1.0	初版	初版発行
	Ver2.0	2026年度改訂版	付録の用語集を別版として発行、本書として発行

用語集 | 用語集について

用語を整理する意味

BIMを利用するに際して、それぞれの専門領域で検討が進む中、新しい概念と用語が次々と生まれて使われ出しています。一方で、用語の意味するところを説明することを怠ると、場合によって異なる表現が用いられる結果となり、誤解が生じたり、相互理解や比較検索などの面で不都合を生じさせます。そのため、一つ一つの用語についても、共通の理解をしていただくことも標準化の重要な課題だと考えております。そこで、標準化タスクフォースとして誤解を招く可能性のある用語をリストアップして説明を行うことにいたしました。ここで示す用語の整理は、学術的に厳密な定義を示すものではなく、共通の理解、認識のもとで検討を行うためのものになります。また、これらの用語については、継続して整理をしていくことで、みなさまの認識の共通化につながると考えています。

編集方法

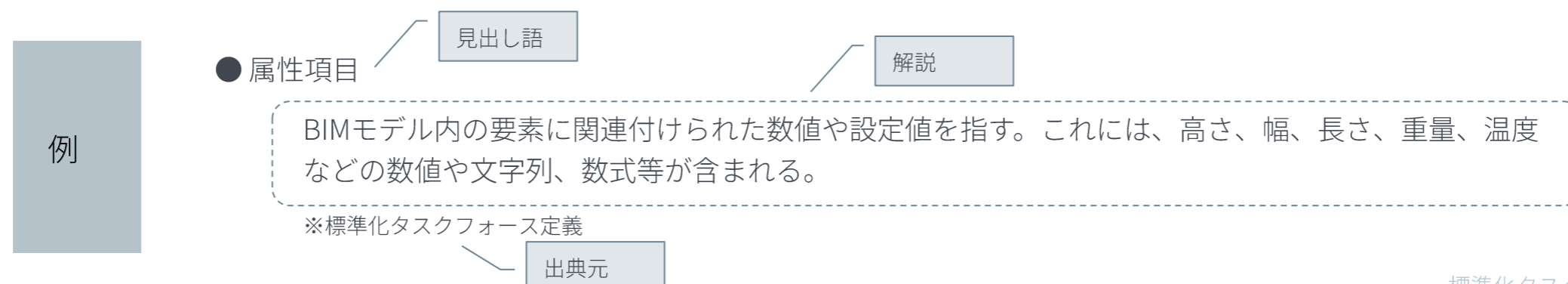
- この用語集は、2025年03月にVer1.0として発行された、案に関わる用語について、標準化タスクフォースとして共通の認識のもと整理をした用語に簡明な解説を付したものである。
- 収録用語の選択基準は次の通りである。
 - 標準属性項目リストおよび解説書に記された用語である。
 - 標準化タスクフォースとしての共通認識を目的とするため、一般用語として概念が理解しやすいものや、概念が理解しやすい合成語などは必ずしも収録していない。
- 各用語に対し、原則として次の順序で記述した。
見出し語 解説 ※出典元（あれば）

見出し語

- 用語には、見出し語の左肩に「●」を付した。
- 送り仮名は学術用語またはこれに準ずる送り方で表記し、これと異なる送り方が用いられることがあっても、その送り方は特に示さなかった。
- 同じ意味を持つ用語でも、用語が異なるものについては別の見出し語とした。

見出し語の配列

- 類似用語をまとめ、頻出順に記載した。



用語集

● 属性項目

BIMモデル内の要素に関連付けられた数値や設定値を指す。これには、高さ、幅、長さ、重量、温度などの数値や文字列、数式等が含まれる。

● パラメータ

属性項目のうち、要素の属性や特性に対し、その振る舞いを制御するのに使用する。

● 属性情報

建築物の特定の要素に関連付けられた属性項目のまとめ。 「形状情報」の多くと「仕様情報」の両者を含んだものとして扱う。

● プロパティ

属性情報を英語表記したもので、属性情報と同一の意味。

● 形状情報

BIMオブジェクトの形からくる数量等の属性情報。寸法・位置・面積・気積等が含まれる。

※ 設計三会 「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会（第1版）」（令和3年10月）

● 仕様情報

BIMオブジェクトに含まれる機能やスペック等の内容を示す属性情報。性能・仕様・分類・フェーズ等が含まれる。

※ 設計三会 「設計BIMワークフローガイドライン 建築設計三会（第1版）」（令和3年10月）

● 連携データ

入出力ルール及び受け渡しルール等を踏まえた、異なるソフト間・プレーヤー間で受け渡すデータ。

用語集

● 中間ファイルフォーマット

異なるソフトウェアやシステム間でデータを交換するために使用される標準化されたファイル形式。

※ ○将来像と工程表について「建築BIMの将来像と工程表（増補版）」（令和5年3月）【本文】

● コード

分類や体系に基づく、意味のある構造を持つ文字列。

● ID

何等かを一意に識別するために使用される、必ずしも意味のある構造を持たない文字列。

● GUID

ランダムに作成される16進表記の32桁のグローバルユニーク識別子。

項目や要素をコンピュータで識別可能とすることを目的としており、IDを構成する文字列に階層や意味は含まない。

● 属性ID

属性項目を一意に識別するために、項目毎に任意に割り振った文字列。

※ 標準化TF定義

● フィルタセット

リストの視認性・閲覧性を高めるため、各属性項目に対して種類・部分・特性に応じ、現在は各検討チームにより独自に付与しているものであり、分類体系を規定するものではない。

標準属性項目リストに記述されたフィルタセットの値を用いても、ユースケースによっては表現したい並び順にはならないため、ユースケースに応じた階層構造を持つ分類により、フィルタセットをユースケース毎に作成する必要がある。このため、異なるユースケースにおいては、フィルタセットに異なる値が入ることに注意を要する。

※ 標準化TF定義

用語集

● 分類体系

情報を体系的に整理し、分類するための方法や枠組み。例えば、建築物や建築関連の国際的な分類体系として Uniclass、OmniClassなどがあるが、目的や国・地域によって異なる分類体系が存在する。

● カテゴリ

建築要素や部材を区分・整理し、モデル情報を構造化して扱うために設定する括り。標準化タスクフォースにおいては、実務上の使い勝手の観点から、整理する際のオブジェクトの分類として階層Type of 1~5 と階層Part of 1~5 で区分けしている。

● 積算

設計図書・モデルに基づいて建築工事費を計算し予測すること。工事費算出に当たって、建築物の数量拾いに重きを置いた場合を積算といい、値段を出すのに重きを置いた場合を見積りという考え方もある。

※ 積算協会

● 概算積算

設計途中段階における概算工事費算出の為の積算。

※ 積算協会

● 精算積算

実施設計完了段階における工事費算出の為の積算。

※ 積算協会

● IFC (Industry Foundation Classes)

buildingSMART International が策定する、建築業界に関する標準化されたデジタル記述のオープンな国際規格をいう。

※ 建築確認におけるBIM 図面審査ガイドライン (素案)

用語集

● ST-Bridge

日本国内の建築構造分野における情報交換のための標準フォーマット。主に日本の一貫構造計算ソフトのBIM連携を行いやすくするために開発された。

※ 構造設計小委員会 – buildingSMART Japan (building-smart.or.jp)

● CDE (Common Data Environment)

建築生産ライフサイクルにおいて設計・施工・製造・運用・維持管理などの各段階の関係者が、設計・施工情報（二次元、三次元、その他関連情報）を共有し受け渡すための手続きや環境をいう。

※ 建築確認におけるBIM 図面審査ガイドライン（素案）

● データジャーニー

選定したユースケースに基づき、いつ・誰が・どのような情報を必要とするかを検証・整理する際に用いる、情報が誰によって作成され、どのように伝達され、どのように活用されるかを一連の流れとして明確化する手法。

※ 「データジャーニー」自体は、データ活用の分野において「データと分析のプロセスガイド」や「データのライフサイクル（生成→収集→変換→分析→決定）の過程」を示す概念

※ 標準化TF定義

● MET

「Model Element Table」の略称。BIMモデル内の各要素に対する各段階の種類や詳細度を体系的に整理した表。

● MAT

「Model Author Table」の略称。METに対して、責任者や担当者を割り当てた役割区分を示した表。

● 役割区分

プロジェクトに関わる様々な参加者の責任と作業範囲を属性項目に対して定義するもの。プロジェクト特性やユースケースに応じて決定されるもの。

用語集

● オリジナルデータ

BIMソフトウェアで作成されたソフトウェア固有の形式のBIMデータのことをいう。

※ 建築確認におけるBIM 図面審査ガイドライン（素案）

● 部位別

建物を構成する個別の物理的な要素や構成部分。尚、工事費内訳明細書の書式の一つである部分別内訳明細書の「部分」とは意味が異なる。

● 工種別

建設プロジェクトを構成する専門的な作業や工事の分類。代表的な用途は公共工事標準仕様書が挙げられる。尚、工事費内訳明細書の書式の一つである工種別内訳明細書の工種とほぼ同義。

● プリセット

あらかじめ設定された一連の値や構成のこと。ユーザーの作業効率を向上させるためのものであり、必要に応じてカスタマイズや微調整を行うもの。

● メーカー値

製品の製造者や供給者が提供する、その製品の特性、性能、仕様に関する数値や情報のこと。

● ユースケース

利用者がある属性項目を用いて特定の目的を達するまでの、双方の間のやり取りを明確に定義したもの。

● ロングリスト

区分けやユースケースごとに選択や抽出することなく網羅されている属性項目をまとめたリスト。

用語集

● バリデーション

一般的には「検証」や「妥当性確認」を意味する。標準化TFにおいては、受け渡されたデータが、あらかじめ定められた要求基準（必要な属性情報・データ種類・データ型等）に適合し、期待通りの結果を得られているかの検証のことを指す。まずは受け渡されたデータの有無について十分かについて検証し、その上で、正しい形式で入力されているか、または特定の数値データが許容範囲内にあるかどうかなどのチェックが想定される。

※ 標準化TF定義

よろしくお願ひいたします

標準化タスクフォース